



社協のマーク

おもしろ

高津第三地区社協機関紙37号

<発行日>平成29年3月31日

<発行人>高津第三地区社会福祉協議会

会長 齊藤 二郎

川崎市高津区溝口1-6-10

てくのかわさき3階

福祉パルたかつ内

TEL 044-812-5500

ごあいさつ

高津第三地区社会福祉協議会
会長 齊藤 二郎



地域の皆様には、私ども地区社協の活動資金として毎年ご協力をいただいております。賛助会費、毎年10月に全国的に実施されます共同募金、そして年末に実施されます年末助け合い運動などたいへんなご協力をいただいております。改めて厚く御礼申し上げます。

皆様ご承知の通り、わが国は少子・高齢化の進行更には人口減少社会へと突入し支え手の不足、家族の介護問題、老後の不安(医療生活)など、地域に於ける様々な課題が出現してきております。誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために川崎市では、高齢者、障害者、子ども、子育て中の親そして現在はケアの必要ない住民など全ての地域住民を対象とした地域包括ケアシステムの構築を目指しております。そのために平成28年4月に「地域みまもり支援センター」を各区役所に設置されました。

又、区社協では、地区社協と連動して地域の住民皆さんの健康づくり、生きがいづくり、介護予防など一

人ひとりが日常心がけ、実践していくこと、更にはご近所の助け合い、みまもりボランティア活動など、広く地域住民の皆さんに協力実践を働きかけております。住民同士が助け合い、助けたり、助けられたり、更にそれでも不十分であれば区役所の「地域みまもり支援センター」の手を借りる。全ての地域住民の皆さんが住み慣れた地域で安心して暮らしていることが出来る。私ども高津第三地区社協であるべく皆様のご協力をいただきながら構築してまいりたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

諏訪ひだまり会

小黒 佐江子

「諏訪ひだまり会」も今年で発足して16年目に入りました。多少の変化はありますが発足以来のメンバーも多く残り、毎月色々なイベントもあり、楽しく運営ができております。男性スタッフには、テーブルの移動や円台の出入りなどの力仕事をお願いしたり、司会進行をお願いしたり感謝しております。この11月には、JAセレサ女性部による「スコップ三味線」の演奏を聞かせて頂きました。これはJAセレサ女性部の旅行で秋田の旅館で見た演奏を独学で練習を重ねて見せてくださいました。他にも毎月、子供達の可愛いバレエや歌・フラダンス・民謡・八木節・お琴と盛りだくさんで、皆で体操して身体を動かしたりもします。



JAセレサ女性部によるスコップ三味線

て頂きます。諏訪の皆様、お茶飲み会のつもりでご参加ください。お待ちしております。毎月第2日曜 午後1時～3時半 陽だまりの園 地域交流室 会費 200円 申込は、お近くの民生委員又は町会へ

会食会

いずみ会

中野 右子

一人暮らしの方を対象に年6回の会食会を、「二子老人いこいの家」で開催しております。昭和59年11月より始まり、この3月で174回目となります。

会食会当日は会長、部長の挨拶に始まり食事前にはお楽しみ余興があります。川崎の歌姫・桜井純恵さんのコンサート・日本舞踊・民謡と三味線・童謡・ゲーム・手品・等々を大勢の方のご協力により、毎回趣向をこらして楽しんでいただいております。

食事会は1月正月風に、3月おひな祭り、5月節句7月夏涼しげに、9月お彼岸11月食の秋にちなんで、季節を目で楽しみ、口でお味を楽しんでいただけるようスタッフ一同考え工夫してお出ししています。

女性スタッフ40数人、4班に分かれ輪番制で当番で料理を担当しています。献立の打ち合せ、買い出し、当日は9時前に集まり、味付け等は皆で確かめ合いな

がら、和気あいあいと調理しています。男性スタッフには会場設営等の担当をお願いし協力して頂いております。スタッフ一同、お客様に喜んで頂ける献立、また、衛生面では充分に気をつけて安心して参加して頂ける

よう心掛けております。2時間余りの食事会は終了し三々五々お帰りの折、楽しかったです。美味しかったです。と一言がうれしく一同ホッとする時です。これからも皆様でお元気でご出席くださいますよう一同お待ちしております。



172回のいずみ会。桜井さんととんとらちゃん。

短歌

北見方 吉田 恵一

手と足と 膝肩腰も くだびれて 部品交換かなわぬものか

二〇二六年一月 日経歌壇入選作

法要や理解しがたき経なれど 聞きゆくうち心に心休まる

二〇二六年六月 日経歌壇入選作

手と足に互ひに触れて無事を知る 老いし一人の目覚めの慣らひ

二〇二六年九月 朝日歌壇入選作

主な行事

- 4月 老人福祉部春の歩こう会
- 5月 高津第三地区社協総会
- 6月 障がい児者福祉部 一日レクリエーション 行き先 ソレイユの丘
- 7月 会食会「第170回いずみ会」 老人福祉部学習会大震災への遭遇を想定した「いざという時!! 普段の準備と対処方法」
- 9月 会食会「第171回いずみ会」 福祉推進部北見方町会に出席、啓発活動
- 11月 老人福祉部秋の歩こう会
- 12月 会食会「第172回いずみ会」 児童福祉部「星空観察会」 障がい児者福祉部「クリスマス会」
- 1月 会食会「第173回いずみ会」
- 2月 福祉推進部二子第二町会に出席、啓発活動
- 3月 会食会「第174回いずみ会」 障がい児者福祉部「家族交流会(母狩り)」

※あけぼの会は毎月1回開催

平成28年度
高津第三地区社協

クリスマス会

障がい児者福祉部会
石塚輝之

障がい児者福祉部会による「クリスマス会」が12月10日、にこぶら新地で行われました。部会では毎年この時期にクリスマス会を行っており皆さん大変楽しみにしているようです。今回は対象者1名が欠席、10名が参加しました。その他ボランティアの専修大の学生、対象者の保護者、介護の方、社協のスタッフ総計51名の参加でした。

午前中は社協スタッフで準備作業を行い、午後からクリスマス会がスタートし



川崎の歌姫・桜井純恵さんにもご協力いただきました。桜井さんの歌のリードで会場が盛り上がり、ついでにところで室内の照明を消灯。キヤンドルに火が灯され、サンタが入場。会場の盛り上がりは最高潮となりました。社協のマスコットキャラとなった、テントラちゃんも大人気でした。また、特別イベントとして、バルーンアートをボランティアの中

村さんと、竹仲部長に演出していただきました。その後スタッフが用意したゲームが会場にセットされ、皆熱中してしまいました。

約3時間程度のクリスマス会でしたが楽しい時間はあっという間に過ぎ、プレゼント交換、バルーンアートの作品が渡されて解散となりました。

私もスタッフの一員となり5年程になります。当初はまったく経験がなく先輩の方の指示を受け活動していました。最近は少しずつ慣れ、今回も良い経験をさせていただいたと思います。

癒されるミニデイ

あけぼの会
池田清夫

ミニデイケアの参加者と送迎する親切なピンクのエプロン姿が似合うスタッフ会場玄関は、笑顔が溢れ、はきものを脱ぐお手伝い、ふれ合う優しい言葉が賑わっている。子どもの頃、姉兄が多かった私は、家族を懐かしく嬉しく思い出してしまう次第です。

保健師さん、ケアマネージャーさんに依る血圧健康チェックで皆さん安心の様子です！

開会には、ユーモアと楽しい問答を交えながら身近な社会の時事問題等、為になるメニュー豊かな話をしてくださる、小池実施委員長に皆、目を輝かして聞き入ってしまふ、本当に楽しみのひと時です。

スタッフに依るレクリエーションは多種多様です。盛り沢山の出し物を考え実施してまいります。風船遊びでは、思いがけず力ん

でしまい、負けじと大声を出す人、うまさ発揮する喜び、会場は幸せの渦巻きで一杯になる。昼食、お茶飲み、談笑、時間が過ぎるのも忘れ「楽しかった参加して良かった」と喜びの声



を聴くたびに私達も共感し共に癒される次第です。

そして、ミニデイケア活動の有意義をスタッフ一同感じていた次第です。地域に根付いた大切な活動を誇りを持って続けなければならぬと一委員として思っています。

秋の歩こう会

久本山お寺めぐり

老人福祉部
小柴博

11月2日10時、総勢60人が「キラリデッキ」に集合

天気は曇り。雨でないのはなによりである。溝口南口バス停信号を渡り左に曲りほどなく右手に薬医門公園が現れる。案内板には高津村初代村長で医者だった岡家の門を移築し、公園として記されている。ここを右に曲ると、右手に久本神社鳥居前に出る。県道鶴見溝口線とはほぼ平行な脇道

を新方向に歩く。さらに道なりに5分進むとそこが龍台寺である。今回は、60人をA・Bの2班に分け龍台寺と増福寺で、ご住職の法話をお聞きする新しい試みを進めている。ここでA班は境内から本堂へ通され、B班は増福寺へと向かう。



を右に曲ると、ここからは登りとなった。谷道らしく両側には山が迫り、五分ほど増福寺を示す矢印が現れ、これに従い左へ曲がる。増福寺では、奥様と若奥様に接遇をして頂き、ちょうどいい休憩が取れた

増福寺左手の脇道がこのコース最後の坂道で、これを登りきると急に展望が開

けた。周りはプロッコリや里芋など冬野菜畑。その先に清掃局の赤白ツートンカラーの煙突がみえた。新作小学校を右手に見ながら急坂を下り、目的地川崎市民プラザに到着。

市民プラザ館内はガラス屋根で広く明るく気持ちいい。中央には小公園のようないイベント広場があり、ここで昼食の弁当をひろげた少し肌寒い陽気ではあったが、充実した秋の一日となりました。

福祉推進部

秋山美由紀

肌寒い雨が降る中、児童福祉部は、東京江東区台場にある「日本科学未来館」に研修にいらしてきました。ドームシアターガイアでは、臨場感ある映像を観たり、二足歩行ロボットのアシモにも会ってきました。



学芸員さんが移動天文車「アストロココーン」を使って説明。

福祉推進部では、社協の活動を各町会の理事会に参加させて頂き、社協の各部署、障がい児者福祉部、おもしろ編集委員会、福祉推進部などの活動報告をさせて頂いております。

昨年9月24日(土)北見方公民館にて、北見方長生会花の会において、社協福祉推進部の広報活動を池田さんより説明されました。

この日は雨にもかかわらず熱心に話を聞かれて、賛助会に入会していただいた方がいらっしやいました。たいへん感謝しております。

地域の皆様の御理解とご支援に感謝いたします。

ご支援・ご協力

ありがとうございます
ございました

今年度も高津第三地区社会福祉協議会にご寄贈がございました。

〈寄託金品〉
竹仲 密昭様
中村 俊彦様

〈賛助会費〉

社協の活動にご賛同いただいた方(賛助会員)に一口千円からの会費(賛助会費)をいただくことにより社協活動にご参加いただいております。

平成28年度は
一、〇九二、〇〇〇円
のご協力がございました。

これらのご寄付・賛助会費はひとりぐらし老人食会「いずみ会」や地域のミニデイケアの活動、青少年育成活動など、幅広い形で有効に利用させて頂いております。

今後も皆様のご期待にこたえることができるよう地域に根ざした福祉の推進に力を入れてまいりますので、どうぞよろしく願っています。

編集後記

機関誌「おもいやり37号」をお届けいたします。原稿をお寄せいただいた皆様、ありがとうございました。

高津第三地区社会福祉協議会では、機関誌「おもいやり」に掲載の部会事業には、お子様から高齢者まで、住み馴れた地域で暮らしていられるような活動を行っています。

是非、一度足をお運びの上参加して楽しんでいただきたいと思っております。これからも編集委員一同広報活動に努めてまいります。

編集委員
小黒 久男 戸張 勝美
吉富 浩三 山田 雅子
三好 弘子

児童福祉部

今 幸子

平成28年10月17日、少し